

毎週月・水・金曜日発行

# 富山県報

平成18年11月1日

水 曜 日

号 外

## 目 次

## 告 示

鳥獣保護区の指定	1
特別保護地区の指定	2
鳥獣保護区の存続期間の更新	4
休猟区の指定	15
銃猟禁止区域の指定	16
銃猟制限区域の指定	17

## 告 示

## 富山県告示第613号

## 鳥獣保護区の指定について

鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律（平成14年法律第88号）第28条第1項の規定により次のとおり鳥獣保護区を指定するので、同条第9項において準用する同法第15条第2項の規定により公示する。

平成18年11月1日

富山県知事 石 井 隆 一

- 鳥獣保護区の名称  
常願寺川河口鳥獣保護区
- 鳥獣保護区の区域  
別紙図面に表示する区域
- 鳥獣保護区の存続期間  
平成18年11月1日から平成28年10月31日まで
- 鳥獣保護区の保護に関する指針  
指定区分  
集団渡来地

## 指定目的

この区域は、渡り鳥の越冬地又は中継地となっていることから、多種多様な水鳥が飛来し、また、環境省が作成したレッドデータブックに掲載されているミサゴ及びコアジサシ、レッドデータブックとやまに掲載されているヒクイナ等の貴重な野鳥も見られ、野鳥の保護繁殖のため重要な地域である。さらに、この区域は、富山市街から近いこともあり、当該区域を県民の探鳥の場として提供することにより、鳥獣保護思想の普及啓発を図ることができる。

このため、これらの野生鳥獣の保護繁殖を図るものである。

（「別紙図面」は、省略し、富山県生活環境文化部自然保護課、富山県魚津農地林務事務所、富山県富山農地林務事務所、富山県高岡農地林務事務所及び富山県砺波農地林務事務所に備え置いて縦覧に供する。）

（自然保護課）

## 富山県告示第614号

## 特別保護地区の指定について

鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律（平成14年法律第88号）第29条第1項の規定により次のとおり特別保護地区を指定するので、同条第4項において準用する同法第15条第2項の規定により公示する。

平成18年11月1日

富山県知事 石 井 隆 一

- 特別保護地区の名称  
大笠鳥獣保護区特別保護地区
- 特別保護地区の区域  
別紙図面に表示する区域
- 特別保護地区の存続期間  
平成18年11月1日から平成38年10月31日まで
- 特別保護地区の保護に関する指針  
指定区分  
森林鳥獣生息地

指定目的

この区域は、白山国立公園内の標高 900メートルから 1,600メートルまでの山岳地帯にあり、ヒメコマツ、ヒノキ、ネズ、ブナ、ナラ、トチ等で構成される天然林が自然度の高い良好な状態で保存されている。また、当該区域は、環境省が作成したレッドデータブックに掲載されているイヌワシ、クマタカ等の貴重な野生鳥獣の生息地となっている。

このため、当該区域を特別保護地区に指定し、行為の制限等を行うことにより森林性の野生鳥獣の生息地の保全を図るものである。

（「別紙図面」は、省略し、富山県生活環境文化部自然保護課、富山県魚津農地林務事務所、富山県富山農地林務事務所、富山県高岡農地林務事務所及び富山県砺波農地林務事務所に備え置いて縦覧に供する。）

（自然保護課）

富山県告示第615号

特別保護地区の指定について

鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律（平成14年法律第88号）第29条第1項の規定により次のとおり特別保護地区を指定するので、同条第4項において準用する同法第15条第2項の規定により公示する。

平成18年11月1日

富山県知事 石 井 隆 一

- 1 特別保護地区の名称  
氷見海岸鳥獣保護区特別保護地区
- 2 特別保護地区の区域  
別紙図面に表示する区域
- 3 特別保護地区の存続期間  
平成18年11月1日から平成28年10月31日まで
- 4 特別保護地区の保護に関する指針  
指定区分  
集団渡来地

指定目的

この区域周辺は、島、岩礁、海食がい、砂浜等により構成される変化に富んだ海浜地形であるため、多くの水鳥が見られ、また、春秋の渡りの季節には、シギ・チドリ類の渡り鳥も数多く見られる。この区域は、瀬浦沖に浮かぶ富山県内最大の島であり、環境省が作成したレッドデータブックに掲載されているハヤブサ、レッドデータブックとやまに掲載されているクロサギ等の貴重な鳥類が見られるほか、生物学的にも貴重な動植物層を呈している。また、当該区域は、能登半島国定公園の特別保護地区及び県の天然記念物に指定されており、生物学上貴重な文化財として重要視されているだけでなく、県民にも広く親しまれている。

このため、当該区域を特別保護地区に指定し、自然環境の保全を図り、野生鳥獣の生息環境を維持するとともに、県民等が気軽に野鳥観察等を体験できるようにするものである。

（「別紙図面」は、省略し、富山県生活環境文化部自然保護課、富山県魚津農地林務事務所、富山県富山農地林務事務所、富山県高岡農地林務事務所及び富山県砺波農地林務事務所に備え置いて縦覧に供する。）

（自然保護課）

富山県告示第616号

鳥獣保護区の存続期間の更新について

鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律（平成14年法律第88号）第28条第7項ただし書の規定により城山鳥獣保護区の存続期間を更新するので、同条第9項において準用する同法第15条第2項の規定により公示する。

平成18年11月1日

富山県知事 石 井 隆 一

- 1 鳥獣保護区の名称  
城山鳥獣保護区
- 2 鳥獣保護区の区域  
別紙図面に表示する区域

3 鳥獣保護区の存続期間

平成18年11月 1 日から平成28年10月31日まで

4 鳥獣保護区の保護に関する指針

指定区分

森林鳥獣生息地

指定目的

この区域は、日本海に接する丘陵地帯及び小島が点在する海面からなっており、植生は、標高 248メートルの城山を中心に広葉樹林帯が広がり、一部にスギの造林地が点在している。また、海岸に接する一帯には「鹿島樹叢」があり、その一帯は、朝日県立自然公園として指定されている。このように、当該区域は、鳥獣の良好な生息環境が維持されているほか、渡り鳥の経路にもなっており、春秋の渡りの季節には多くの種類の渡り鳥が見られる。また、海岸沿いは、水鳥の良好な生息環境にもなっている。

このため、これらの野生鳥獣の保護繁殖を図るものである。

（「別紙図面」は、省略し、富山県生活環境文化部自然保護課、富山県魚津農地林務事務所、富山県富山農地林務事務所、富山県高岡農地林務事務所及び富山県砺波農地林務事務所に備え置いて縦覧に供する。）

（自然保護課）

富山県告示第617号

鳥獣保護区の存続期間の更新について

鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律（平成14年法律第88号）第28条第 7 項ただし書の規定により大平鳥獣保護区の存続期間を更新するので、同条第 9 項において準用する同法第15条第 2 項の規定により公示する。

平成18年11月 1 日

富山県知事 石 井 隆 一

1 鳥獣保護区の名称

大平鳥獣保護区

2 鳥獣保護区の区域

別紙図面に表示する区域

3 鳥獣保護区の存続期間

平成18年11月 1 日から平成28年10月31日まで

4 鳥獣保護区の保護に関する指針

指定区分

森林鳥獣生息地

指定目的

この区域は、新潟県境に接する境川の上流地帯に位置し、標高約 400メートルから 1,600メートルまでの山岳地帯にある。当該区域は、その全域が国有林であり、その地形は変化に富み、溪流が多く存在している。また、植生は、ブナ、ミズナラ等の広葉樹がほとんどを占めており、自然度の高い良好な状態で保存されている。さらに、当該区域は、渡り鳥の経路にもなっており、低山帯から亜高山帯にかけ、多くの種類の鳥獣が生息する良好な環境となっている。

このため、これらの野生鳥獣の保護繁殖を図るものである。

（「別紙図面」は、省略し、富山県生活環境文化部自然保護課、富山県魚津農地林務事務所、富山県富山農地林務事務所、富山県高岡農地林務事務所及び富山県砺波農地林務事務所に備え置いて縦覧に供する。）

（自然保護課）

富山県告示第618号

鳥獣保護区の存続期間の更新について

鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律（平成14年法律第88号）第28条第 7 項ただし書の規定により大笠鳥獣保護区の存続期間を更新するので、同条第 9 項において準用する同法第15条第 2 項の規定により公示する。

平成18年11月 1 日

富山県知事 石 井 隆 一

1 鳥獣保護区の名称

大笠鳥獣保護区

2 鳥獣保護区の区域

別紙図面に表示する区域

3 鳥獣保護区の存続期間

平成18年11月 1 日から平成38年10月31日まで

4 鳥獣保護区の保護に関する指針

指定区分

森林鳥獣生息地

指定目的

この区域は、石川県及び岐阜県の県境に接し、庄川の支流である境川の西側の標高 500メートルから 1,800メートルまでの山岳地帯に位置し、その大部分が白山国立公園に指定されている。当該区域は、その全域が国有林であり、植生は、ヒメコマツ、ヒノキ、ネズ、ブナ、ナラ、トチ等の天然林で構成されており、自然度の高い良好な状態で保存されているため、森林性の鳥獣の生息に適した状態となっている。

このため、これらの森林性の鳥獣の保護繁殖を図るものである。

（「別紙図面」は、省略し、富山県生活環境文化部自然保護課、富山県魚津農地林務事務所、富山県富山農地林務事務所、富山県高岡農地林務事務所及び富山県砺波農地林務事務所に備え置いて縦覧に供する。）

（自然保護課）

富山県告示第619号

鳥獣保護区の存続期間の更新について

鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律（平成14年法律第88号）第28条第 7 項ただし書の規定により小口川鳥獣保護区の存続期間を更新するので、同条第 9 項において準用する同法第15条第 2 項の規定により公示する。

平成18年11月 1 日

富山県知事 石 井 隆 一

1 鳥獣保護区の名称

小口川鳥獣保護区

2 鳥獣保護区の区域

別紙図面に表示する区域

3 鳥獣保護区の存続期間

平成18年11月 1 日から平成28年10月31日まで

4 鳥獣保護区の保護に関する指針

指定区分

森林鳥獣生息地

指定目的

この区域は、県の南部の常願寺川の支流である小口川の南側に位置し、標高約 800メートルから 1,700メートルまでの山岳地帯にある。当該区域は、その全域が国有林であり、植生は、主としてブナ、ミズナラ、カンバ等の広葉樹で構成されており、森林性の鳥獣の生息に適した自然環境が保存されている。

このため、これらの森林性の鳥獣の保護繁殖を図るものである。

（「別紙図面」は、省略し、富山県生活環境文化部自然保護課、富山県魚津農地林務事務所、富山県富山農地林務事務所、富山県高岡農地林務事務所及び富山県砺波農地林務事務所に備え置いて縦覧に供する。）

（自然保護課）

富山県告示第620号

鳥獣保護区の存続期間の更新について

鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律（平成14年法律第88号）第28条第 7 項ただし書の規定により氷見海岸鳥獣保護区の存続期間を更新するので、同条第 9 項において準用する同法第15条第 2 項の規定により公示する。

平成18年11月 1 日

富山県知事 石 井 隆 一

1 鳥獣保護区の名称

氷見海岸鳥獣保護区

2 鳥獣保護区の区域

別紙図面に表示する区域

3 鳥獣保護区の存続期間

平成18年11月 1 日から平成28年10月31日まで

4 鳥獣保護区の保護に関する指針

指定区分

集団渡来地

指定目的

この区域の海岸線の延長は、約24キロメートルに及び、県内の海岸線の約 4 分の 1 に相当し、また、当該区域は、島、岩礁、海食がい、砂浜等により変化に富んだ海浜地形を呈している。植生は、海浜植物が多く、クロマツ、ネムノキ等も見られる。また、多くの水鳥がみられ、岩礁地帯は、水深が5メートルから10メートル程度であることから、潜水性海鳥の格好の採餌場となっている。さらに、春秋の渡りの季節には、シギ・チドリ類の渡り鳥も数多く見られ、鳥獣の生息に適した環境となっている。

このため、これらの野性鳥獣の保護繁殖を図るものである。

（「別紙図面」は、省略し、富山県生活環境文化部自然保護課、富山県魚津農地林務事務所、富山県富山農地林務事務所、富山県高岡農地林務事務所及び富山県砺波農地林務事務所に備え置いて縦覧に供する。）

（自然保護課）

富山県告示第621号

鳥獣保護区の存続期間の更新について

鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律（平成14年法律第88号）第28条第 7 項ただし書の規定により利賀鳥獣保護区の存続期間を更新するので、同条第 9 項において準用する同法第15条第 2 項の規定により公示する。

平成18年11月 1 日

富山県知事 石 井 隆 一

1 鳥獣保護区の名称

利賀鳥獣保護区

2 鳥獣保護区の区域

別紙図面に表示する区域

3 鳥獣保護区の存続期間

平成18年11月 1 日から平成28年10月31日まで

4 鳥獣保護区の保護に関する指針

指定区分

森林鳥獣生息地

指定目的

この区域は、小牧ダム上流の庄川及び同川の支流である利賀川に囲まれた標高約 300メートルから 800メートルまでの地帯に位置している。植生は、主としてブナ、ナラ等の広葉樹で構成されており、一部にスギ等の造林地を含んでいるが、自然環境は良好な状態で保存され、森林性の鳥獣の生息に適した環境となっている。

このため、これらの森林性の鳥獣の保護繁殖を図るものである。

（「別紙図面」は、省略し、富山県生活環境文化部自然保護課、富山県魚津農地林務事務所、富山県富山農地林務事務所、富山県高岡農地林務事務所及び富山県砺波農地林務事務所に備え置いて縦覧に供する。）

（自然保護課）

富山県告示第622号

鳥獣保護区の存続期間の更新について

鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律（平成14年法律第88号）第28条第 7 項ただし書の規定により座主坊鳥獣保護区の存続期間を更新するので、同条第 9 項において準用する同法第15条第 2 項の規定により公示する。

平成18年11月 1 日

富山県知事 石 井 隆 一

1 鳥獣保護区の名称

座主坊鳥獣保護区

2 鳥獣保護区の区域

別紙図面に表示する区域

3 鳥獣保護区の存続期間

平成18年11月 1 日から平成28年10月31日まで

4 鳥獣保護区の保護に関する指針

指定区分

森林鳥獣生息地

指定目的

この区域は、県の南部の常願寺川右岸の標高約 600メートルの山々に囲まれた山麓<sup>ろく</sup>地帯に位置し、中部山岳国立公園の立山ルート入口に当たる。植生は、ナラ、カエデ、ミズキ等の広葉樹が多く、一部にスギの造林地を含んでいるが、自然環境は良好な状態で保存され、森林性の鳥獣の生息に適した環境となっている。また、ツグミ、アトリ、カシラダカ等の渡り鳥の経路にもなっている。

このため、これらの野性鳥獣の保護繁殖を図るものである。

（「別紙図面」は、省略し、富山県生活環境文化部自然保護課、富山県魚津農地林務事務所、富山県富山農地林務事務所、富山県高岡農地林務事務所及び富山県砺波農地林務事務所に備え置いて縦覧に供する。）

（自然保護課）

富山県告示第623号

鳥獣保護区の存続期間の更新について

鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律（平成14年法律第88号）第28条第 7 項ただし書の規定により白木峰鳥獣保護区の存続期間を更新するので、同条第 9 項において準用する同法第15条第 2 項の規定により公示する。

平成18年11月 1 日

富山県知事 石 井 隆 一

1 鳥獣保護区の名称

白木峰鳥獣保護区

2 鳥獣保護区の区域

別紙図面に表示する区域

3 鳥獣保護区の存続期間

平成18年11月 1 日から平成28年10月31日まで

4 鳥獣保護区の保護に関する指針

指定区分

森林鳥獣生息地

指定目的

この区域は、神通川の支流である大長谷川、野積川及び岐阜県境の稜線に囲まれた地域であり、標高約 200メートルの低山帯から標高 1,586メートルの白木峰に至る森林地帯に位置し、当該区域の南半分は、白木水無県立自然公園に指定されている。植生としては、山麓<sup>ろく</sup>部にはトチ、ホオノキ、ミズナラ等が、1,000メートル以上になるとブナ等が見られ、当該区域の国有林の一部にはスギの造林も含まれている。また、当該区域には溪谷、谷川等があり、森林性の鳥獣の生息に適した環境となっていることから、ワシタカ類及びフクロウ類も数多く生息し、また、アトリ、ツグミ等の渡り鳥の越冬地にもなっている。

このため、これらの野性鳥獣の保護繁殖を図るものである。

（「別紙図面」は、省略し、富山県生活環境文化部自然保護課、富山県魚津農地林務事務所、富山県富山農地林務事務所、富山県高岡農地林務事務所及び富山県砺波農地林務事務所に備え置いて縦覧に供する。）

（自然保護課）

富山県告示第624号

鳥獣保護区の存続期間の更新について

鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律（平成14年法律第88号）第28条第 7 項ただし書の規定により奥神通鳥獣保護区の存続期間を更新するので、同条第 9 項において準用する同法第15条第 2 項の規定により公示する。

平成18年11月 1 日

富山県知事 石 井 隆 一

1 鳥獣保護区の名称

奥神通鳥獣保護区

2 鳥獣保護区の区域

別紙図面に表示する区域

3 鳥獣保護区の存続期間

平成18年11月 1 日から平成28年10月31日まで

4 鳥獣保護区の保護に関する指針

指定区分

森林鳥獣生息地

指定目的

この区域は、県の中央を流れる神通川の上流部に同川に沿って位置する川面（標高約 100メートル）から下山（標高 450.4メートル）に至る地域であり、当該区域の大部分は、神通峡県定公園及び神通峡自然環境保全地域に指定されている。植生としては、コナラ、リョウブ、アカマツ、ウラジロガシ等が見られる。また、当該区域には水域、農耕地、森林及び河岸断がいきなりあり、富山県では生息数が少ないブッポウソウ及びヤマセミが生息しているほか、秋冬にかけてはカモ類が見られる等、四季を通じて数多くの鳥類が見られる。

このため、これらの野性鳥獣の保護繁殖を図るものである。

（「別紙図面」は、省略し、富山県生活環境文化部自然保護課、富山県魚津農地林務事務所、富山県富山農地林務事務所、富山県高岡農地林務事務所及び富山県砺波農地林務事務所に備え置いて縦覧に供する。）

（自然保護課）

富山県告示第625号

鳥獣保護区の存続期間の更新について

鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律（平成14年法律第88号）第28条第 7 項ただし書の規定により奥五位鳥獣保護区の存続期間を更新するので、同条第 9 項において準用する同法第15条第 2 項の規定により公示する。

平成18年11月 1 日

富山県知事 石 井 隆 一

1 鳥獣保護区の名称

奥五位鳥獣保護区

2 鳥獣保護区の区域

別紙図面に表示する区域

3 鳥獣保護区の存続期間

平成18年11月 1 日から平成28年10月31日まで

4 鳥獣保護区の保護に関する指針

指定区分

森林鳥獣生息地

指定目的

この区域は、能登半島基部を南北に伸びる丘陵性山地の標高約 200メートルから 500メートルまでの地域に位置し、ため池、小溪流及び沢が多数あり、その地形は変化に富んでいる。植生としては、低山性のコナラ等の広葉樹のほか、アカマツ、スギ等が見られる。また、農耕地及び造林地が多いことから、林縁性のホオジロ、ヒヨドリ等をはじめ、ヤマガラ、メジロ等の留鳥及びサンショウクイ、ホトトギス等の夏鳥が多い。さらに、当該区域は、全国的にも渡り鳥の経路として有名であり、春秋の渡りの季節には多くの渡り鳥を見ることができ。

このため、これらの野性鳥獣の保護繁殖を図るものである。

（「別紙図面」は、省略し、富山県生活環境文化部自然保護課、富山県魚津農地林務事務所、富山県富山農地林務事務所、富山県高岡農地林務事務所及び富山県砺波農地林務事務所に備え置いて縦覧に供する。）

（自然保護課）

富山県告示第626号

鳥獣保護区の存続期間の更新について

鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律（平成14年法律第88号）第28条第 7 項ただし書の規定により医王山鳥獣保護区の存続期間を更新するので、同条第 9 項において準用する同法第15条第 2 項の規定により公示する。

平成18年11月 1 日

富山県知事 石 井 隆 一

1 鳥獣保護区の名称

医王山鳥獣保護区

2 鳥獣保護区の区域

別紙図面に表示する区域

3 鳥獣保護区の存続期間

平成18年11月1日から平成28年10月31日まで

4 鳥獣保護区の保護に関する指針

指定区分

森林鳥獣生息地

指定目的

この区域は、県西部の石川県境と接する標高約 140メートルから 939.1メートルまでの奥医王に至る地域に位置し、大小の溪流及びため池が多数あり、当該区域の大部分が医王山県立自然公園に指定されている。植生としては、山麓部ではスギ、ヒノキ、コナラ、クリ等が、中腹部ではコナラ等に混じってリョウブ、マルバマンサク、ヒメアオキ等が、標高 500メートル付近からはブナが見られ、国見峠付近では樹林を形成している。また、当該区域には、森林性の鳥獣が多く生息し、県内では比較的珍しいサンコウチョウ及びハチクマも繁殖しており、鳥獣にとって良好な生息環境となっている。さらに、当該区域は、能登半島に連なる冬鳥の渡りの経路にもなっており、春秋の渡りの季節にはツグミ、シロハラ等の多くの渡り鳥を見ることができる。

このため、これらの野性鳥獣の保護繁殖を図るものである。

（「別紙図面」は、省略し、富山県生活環境文化部自然保護課、富山県魚津農地林務事務所、富山県富山農地林務事務所、富山県高岡農地林務事務所及び富山県砺波農地林務事務所に備え置いて縦覧に供する。）

（自然保護課）

富山県告示第627号

休猟区の指定について

鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律（平成14年法律第88号）第34条第1項の規定により次のとおり休猟区を指定するので、同条第3項の規定により公示する。

平成18年11月1日

富山県知事 石 井 隆 一

名称	区域	存続期間
境休猟区	別紙図面に表示する区域	平成18年11月15日から平成21年11月14日まで
早月川休猟区		
大森休猟区		
極楽寺休猟区		
栃原休猟区		

（「別紙図面」は、省略し、富山県生活環境文化部自然保護課、富山県魚津農地林務事務所、富山県富山農地林務事務所、富山県高岡農地林務事務所及び富山県砺波農地林務事務所に備え置いて縦覧に供する。）

（自然保護課）

富山県告示第628号

銃猟禁止区域の指定について

鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律（平成14年法律第88号）第35条第1項の規定により次のとおり銃猟禁止区域を指定するので、同条第12項において準用する同法第34条第3項の規定により公示する。

銃猟禁止区域の設定について（平成14年富山県告示第 575号）は、平成18年11月14日限り、廃止する。

平成18年11月1日

富山県知事 石 井 隆 一

名称	区域	存続期間
呉羽銃猟禁止区域	別紙図面に表示する区域	平成18年11月15日から平成28年11月14日まで
舟倉銃猟禁止区域		
	同上	同上



八木山銃猟禁止区域	同上	同上
雨晴銃猟禁止区域	同上	同上
東五位・立野地区銃猟禁止区域	同上	同上
水橋池田館銃猟禁止区域	同上	同上
富山銃猟禁止区域	同上	平成18年11月15日から平成24年11月14日まで

（「別紙図面」は、省略し、富山県生活環境文化部自然保護課、富山県魚津農地林務事務所、富山県富山農地林務事務所、富山県高岡農地林務事務所及び富山県砺波農地林務事務所に備え置いて縦覧に供する。）

（自然保護課）

富山県告示第629号

銃猟制限区域の指定について

鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律（平成14年法律第88号）第35条第1項の規定により次のとおり銃猟制限区域を指定するので、同条第12項において準用する同法第34条第3項の規定により公示する。

平成18年11月1日

富山県知事 石 井 隆 一

- 1 名称 中番銃猟制限区域
- 2 区域 別紙図面に表示する区域
- 3 面積 290ヘクタール
- 4 存続期間 平成18年11月15日から平成21年11月14日まで

（「別紙図面」は、省略し、富山県生活環境文化部自然保護課、富山県魚津農地林務事務所、富山県富山農地林務事務所、富山県高岡農地林務事務所及び富山県砺波農地林務事務所に備え置いて縦覧に供する。）

波農地林務事務所に備え置いて縦覧に供する。）  
（自然保護課）